

補修用・ポリマーセメント系特殊軽量モルタル

DIA

リマモル#70

F☆☆☆☆

10mm以上の深い欠損部の充てん補修に最適。
軽量なので天井面・垂直面の厚塗り施工に適しています。

■ 特 長

- 接着性、耐久性抜群。
- 軽量モルタルで作業性に優れる。
- 適度にシマリがあるため、天井面、垂直面もずり落ちの心配がない。
- 1回で厚付けができ、強度発現が早いので、工期の短縮が可能。
- コストはエポキシ軽量モルタルに比べ安価で経済的。

■ 概 要

種 類: ポリマーセメント系特殊軽量モルタル

用 途: コンクリート欠損部の充填補修など(天井面、垂直面の厚塗り補修施工可能)

施 工: コテ

適用下地: 建築構造物のコンクリート、モルタル等の無機下地

荷 姿: 12kgセット(主材: 粉体灰色10kg/混和液: 乳白色液体2kg)、24kgセット(主材: 20kg/混和液: 液体4kg)

■ 性 能

試験項目	品質基準	結 果	試験方法
単位容積質量	1.1~1.3kg/L	1.21kg/L	JIS A 1171 6.3
付着強さ	0.7N/mm ² 以上	1.0N/mm ²	JIS A 6916 7.13
曲げ強度	3.0N/mm ² 以上	6.1N/mm ²	JIS A 6916 7.11
圧縮強度	20.0N/mm ² 以上	20.1N/mm ²	JIS A 6916 7.12
長さ変化試験	0.15%以下	0.13%	JIS A 6916 7.16

※リマモル#70の積算比重は0.97

■ 施工前の処理(裏面写真参照)

前処理

(1) 下地の清掃

- コンクリートの浮き、剥落箇所、脆弱箇所などを打診確認した後、電動ブラシ、ディスクサンダーはつりピック、タガネなどで撤去し更に清掃ブラシあるいは高圧水洗により塵芥やホコリを残さないように除去します。高圧洗浄などにより水を使用した場合は乾燥させます。
- 露出鉄筋部はワイヤブラシ、ハンマー等で浮き錆をケレン除去し清掃します。

(2) 下地処理

- 下地の脆弱層がある場合に、浸透固着材(ダイヤシーラーエポ)などのエポキシシーラーを刷毛あるいはローラーを用いてコンクリート面に塗布しておきます。鉄筋には塗らないようにして下さい。
- コンクリート欠損部に表面硬化及び接着を目的としてセメンジャス#2000などを刷毛等ですり込むように塗布しておきます。
- 露出鉄筋部は防食塗材(セメンジャス#2000)で防錆処理を行います。

リマモル#70

■ 施工工程

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	乾燥時間	
					工程内	工程間
1	下地調整	(1)補修部の研り:仕上塗り及び躯体脆弱部のコンクリート、モルタル部分周辺を周辺健全部に影響を与えないように、電動カッター等で切断したうえ、研り落します。研り部周辺が浮くおそれがある場合は、予め、補修箇所の周辺を350mm程度でアンカーピンニング工法によりピンニングを行い、補修による共浮きを防止します。 (2)補修部の補強:補修部が30mmを越える場合は、ステンレスピン(SUS304 φ6)を350mm間隔程度に打ち、ピン頭部をステンレス線(SUS304 φ0.4mm以上)にて結線し、充填箇所の浮き・落下を防止します。 (3)清掃:補修箇所をエアブロー、又は高圧水洗浄等で清掃します。				
2	含浸固着 ダイヤシーラーエポ ダイヤエポキシ用シンナー 〔下地が脆弱な場合〕	A液 7kg B液 7kg 0~1.6%	0.2~0.3kg/m ²	1	—	1時間以上 48時間以内
3	下塗り セメンシヤス#2000 主材 混和液 清 水	15kg 5kg 1~1.5%	0.8~1.0kg/m ²	1	—	2時間以上
4	充てん リマモル#70 主材 混和液 清 水	10kg (20kg) 2kg (4kg) 2.5~4% (5~8%)	約24.0kg/m ² (20mm厚)	1~3	3時間以上	24時間以上
5	中性化抑止 材の施工 セメンシヤス#2000 主材 混和液 清 水	15kg 5kg 1~1.5%	0.8~1.0kg/m ²	1	—	—

工程1
- (1)
はつり



工程1
- (2)
さび落とし



工程2



工程3



工程4



工程5



工程写真で参照下さい。
(但し、現場によって多少異なります。)

可使時間

可使時間/夏期:15分、春秋期:20分、
冬期:30分(5分ほどでしまり開始)

※エポキシシーラー、防食ポリマーセメントペーストは塗布後指触乾燥するまで放置してからリマモル#70の施工をする。

※()は
24kgセットの場合

図1

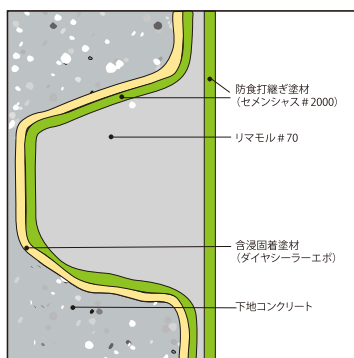
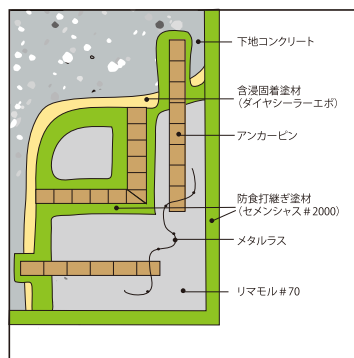


図2



調合方法

- ①リマモル#70混和液2kg(4kg)に清水2.5% (5%)を加えリマモル#70主材10kg(20kg)を徐々に加えながら混練します。
- ②清水0~1.5% (0~3%)を加え施工しやすい軟度に調整します。 ※()は24kgセットの場合になります。

充てん方法

- ①天井部分、あげ裏部分などの場合(図1)
1回での充てん厚みは10mm程度ですが欠損部が大きい場合はラス網等を準備しアンカーピンで材料が落下しないよう配慮します。
- ②垂直壁面等の場合(図2)
1回での充てん厚みは30mm程度ですが23℃で3~4時間経過しますと2回目の充てんができます。欠損部が大きい場合はあて板等をして充てんしますが配筋やラス網を利用して層間剥落をしないように配慮します。

■ 注意事項

- ①可使時間が短いので施工可能量以内で調合して下さい。
- ②広い面積(0.25㎡以上)の断面補修の場合はリマモル#70面補修用をご使用下さい。
- ③雨天時または気温5℃以下の場合は施工を避けて下さい。また、夜間に凍結の恐れがあるときは作業時間帯を考慮し、必要に応じて養生を行って下さい。
- ④付け送りする場合は1層目に軽くクシ目を入れ、2層目との付着性を良くして下さい。
- ⑤材料の保管及び調合場所は直射日光の当たらない場所で行って下さい。
- ⑥施工中にアワガミが生じた場合はコデでエアを切り、平滑に戻しておきます。
- ⑦材料は付着乾燥しますと取れませんが完全に養生をして下さい。塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、施工後は速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃してください。
- ⑧施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点について仕様書等をご確認下さい。
- ⑨施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。